

# 支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

## 東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

安全で安心なおいしい水を皆さんに  
～河之内浄水場～

大明神川以北の地域にお住まいの皆さんの、日々の暮らしに不可欠な「水」を支えている河之内浄水場は、伊予の三湯の一つである本谷温泉の上流に位置しています。

水をきれいにするには、緩速ろ過、急速ろ過、膜ろ過、高度浄水処理システムなど、多くの方法があります。それぞれの方法に特徴があり、地域の事情によって適している方法が異なります。河之内浄水場が採用している緩速ろ過は「水中の砂の表面に繁殖した微生物の働きで水をきれいにする」という、自然の力を最大限に活用した一番自然な方法ですが、広いろ過池が必要となります。河之内浄水場には5つのろ過池があり、その機能を維持するため年に1～2回はろ過砂の入れ替えを行っています。

河之内浄水場の水源は、大明神川上流の天然にろ過された伏流水です。その取水口の上流部は、水源の森をはじめ豊かな自然に恵まれています。また、自然に近いおいしい飲み水を皆さんにお届けするために、取水口付近の河川清掃等の維持管理業務も定期的実施しています。

このようにして浄化された水が、滅菌処理を施した後、浄水池・各配水池を通過して、皆さんのご家庭に送り届けられているのです。



取水口付近の環境維持も…



おいしい水をつくる浄水池

## 丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

地域の皆さんの心に花を咲かせたい  
～花いっぱい運動～

花いっぱい運動は、社会を美しく・明るく・住みやすく、また、花を通じて人々の気持ちを豊かにとの願いを込めて始められたもので、その心は単にまちを花で飾るだけではなく、社会を明るく美しくしようとする願いを込めた精神運動の種が、地域住民の心にも花を咲かせるものです。

丹原地区でも、昭和63年から当時の丹原町商工会婦人部が中心となって運動を展開し、丹原商店街・町庁舎前花壇・佐伯記念館・湯谷口バス停付近などに花の苗を植え、環境美化活動に取り組んできました。その後、会員の減少などで活動継続の危機を迎えましたが、平成12年に丹原生活文化女性塾と湯谷口老人会（現在は花と緑の会湯谷口地区）が、取り組みを引き継いでいます。丹原女性塾が主な公共

施設等を担当し、花と緑の会湯谷口地区が湯谷口バス停付近での花づくり活動を推進しています。

また丹原文化会館では、丹原高校園芸科学科の先生や草花班の生徒たちのご協力をいただき、花いっぱい推進重点地区指定育成事業で設置された省力灌水プランター86個に花が植え替えられ、来館者の目を楽しませています。

この花いっぱい運動により、実際に環境美化に取り組んでいる方々はもちろん、地域の皆さんの交流が深まりを見せています。



花の世話をする丹原高生ら

## 小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

ばやし  
小松囃子KOMATSU-BAYASHI  
～小松町ふるさと祭りダンス曲～

小松町ふるさと祭り実行委員会（吉實善允委員長）では若者の参加を求めて新たなダンスを創作しました。

和太鼓集団「鼓童」の元メンバーで、世界23カ国での演奏経験をもつ新居浜市在住の篠笛奏者・阿部一成さんに曲作りを依頼。阿部さんは、小松町本善寺で踊り継がれてきた盆踊り唄「トンカカさん（新崖節）」の力強い旋律をベースに、小松町誌を読んでイメージした地域の人々の熱い思いを村祭りのお囃子の軽やかな調子に乗せ、篠笛と太鼓に三味線やピアノを加えて小松囃子を作ったそうです。



篠笛を吹く阿部一成さん

振り付けは「ダンススタジオ101」を主宰し、創作ダンス教室や自力整体予防医学指導士として活動する渡邊栄子さん。渡邊さんは「受け継がれた歴史や文化を大切にしつつ、新しい動きや若々しさを取り入れました。踊る時は手に神楽鈴を付けます。清めや繁栄の意味のある鈴の音色が、地域やふるさと祭りの活性化につながれば…」と話し、祭りに向けて子どもたちとの練習に汗を流していました。

「伝統を大切にしつつ、新しい息吹を創る」との思いを込めたダンスは、7月31日、小松町ふるさと祭り披露される予定です。ぜひご覧ください。



ダンススタジオ101の皆さん